



2023 年度 JANPU-CBT 実証事業

【実証校の公募】 参加条件

【2023 年度 JANPU-CBT 参加条件】* 下記①-⑫を満たすことを事前に確認する。

- ①上記 JANPU-CBT 実施日のいずれかに参加できる。複数回・複数日受験はできない。
- ②実証校として決定後、各実証校に JANPU-CBT 実施本部よりアカウントを配布する。JANPU-CBT 実施本部は、学生の個人情報扱わない(学生の個人情報は入力しない)。各実証校で学生 ID と氏名などの紐づけが必要な場合は、各実証校でデータを管理する。
- ③対象学生(領域実習時期前とし、early exposure などの体験実習は含まない)の原則全員参加が見込める。ただし、JANPU-CBT 実証事業の目的や、各実証校の多様な環境等を鑑み、学生の参加人数については、各実証校が設定し申請可能とする。どの時期の学生が妥当であるかの検討・判断は各実証校がカリキュラムに基づき実施する。
- ④対象学生の ICT 媒体を準備できる(個人所有の ICT 端末も使用可能)。2023 年度 JANPU-CBT はインターネットブラウザを使用する。OS の指定はないが「Microsoft Edge」、「Apple Safari」、「Google Chrome」のいずれかに接続できるように準備する(「Internet Explorer」は非対応)。問題形式は、5選択肢/多選択肢/順次解答4連問5選択一形式である。設問が十分に閲覧できる媒体はタブレットもしくは PC であるため、これらを満たす ICT 媒体が確保できることを事前に確認する(スマートフォン画面サイズには対応していない)。
- ⑤対象学生と教職員の ICT スキルを確認できる。各実証校責任者や試験監督の教職員や学生が、ICT を用いた試験や確認テスト、アンケートなどを実施した経験がある(回答者としての経験がある)。なお、実証校責任者については上記条件を満たす者が担当する。
- ⑥JANPU-CBT 実施にあたり、事前に指定する MEXCBT を用いた動作確認を各実証校で実施する。
- ⑦各実証校は教室(試験会場)と実施体制と試験監督を準備できる。対面実施のため各実証校で実施体制を準備する(各実証校の参加学生に応じた実施体制)。
- ⑧インターネット環境を準備できる。1 端末あたり 0.35 Mbps~0.5Mbps の帯域が必要となる。画像を利用した問題を再生する場合には、環境により動作が遅くなる可能性がある(試験時間に影響する可能性がある)。インターネット通信料は各自負担となる。インターネット環境は学生人数に対応できる教室を準備する(必要時、教室の定員数の半数になどネットワークや学内サーバーへの負荷を抑える)。
- ⑨ICT 媒体の準備・保守管理は CBT 管理運用各実証校責任者が行う。
- ⑩JANPU-CBT 実施本部は、各実証校の ICT 媒体・インターネット・ICT スキル・実施体制・教室(試験会場)などの不具合などに関する対応は行わない。各実証校での対応となる。
- ⑪2023 年度 JANPU-CBT 実証事業の公正な準備と運用のために、遵守事項を確認の上、「実施要項」と「学生用マニュアル」に基づき実施できる。
- ⑫各実証校責任者、各実証校監督者、参加学生は下記を提出できる
 - i 各実証校責任者は「参加申し込み(各実証校)」「実証校としての遵守事項の同意」「予定最大受験者数」「事前動作確認報告書」「2023 年度 JANPU-CBT 各実証校終了後報告書」を提出できる。
 - ii 各実証校監督者は、「2023 年度 JANPU-CBT の守秘等(学生以外の関係者)」「2023 年度 JANPU-CBT 各実証校監督者・関係報告書」提出できる。
 - iii 参加学生は、「学生終了後アンケート」「2023 年度 JANPU-CBT の守秘等に関する説明と同意」を当日提出できる。